

台湾観光局

# 初の200万人突破、日台観光は新ステージへ

日本から台湾を訪れる日本人訪台旅行者数が、史上初めて200万人を突破した。台湾はとて親日的で日本との絆が深く、幅広い世代から支持を得ており、双方向で交流人口が増加した。令和元年という記念すべき2019年に、200万人を突破して新たなステージに入った台湾観光。今後のさらなる日台交流の拡大が期待される。台湾観光局の鄭憶萍東京事務所長に話を聞いた。

## 初めての訪台200万人を突破した。

本当に長い間、100万人から200万人まで、14年かけて到達できた。日本と台湾の関係者に心から感謝している。私は100万人に到達した2005年から台湾観光局の配属となり、それ以来14年間、ずっと日本向けのプロモーションを中心に手掛けてきた。立場は公務員だが、実際には民間企業のような気持ちで、旅行会社やイベント会社をはじめ、様々な分野の政府機関の方々に会い、たくさんの協力を頂いた。とても感謝している。

## 14年間で一番思い出に残っていることは。

一番忘れられないのは、2011年の3.11(東日本大震災)だろう。日本の回復のために台湾観光局として、温かい応援の気持ちを伝えるために何かできないかと考え、“希望の旅”を実施した。航空会社や宿泊業者に協力を呼びかけて、被災された方々に台湾での癒しの旅、台湾でほっとする旅をしてもらおうと取り組んだ。

5つ星ホテルから地方の民宿まで、皆が協力を申し出てくれた。応援の気持ちを伝えたいという思いは一緒だった。そうして、被災された1000人の方々に、台湾での約2週間の癒しの旅を提供した。義捐金も被災した各県に持参した。

ビジネスとは関係なく、みんなが日本への応援の気持ちで一つになった。日本と台湾の多くの関係者の協力で実現できたものであり、忘れられない思い出となっている。

## 台湾と日本の絆は深まった。

3.11以降、台湾と日本の絆はより深まったと思う。台湾の知名度は高まり、日本各地を訪れても日本人はとて手厚くおもてなしをしてくれる。台湾はとて親日で、みな日本人との交流を楽しんでいる。それで今度は日本からも台湾に行ってみようとなる。民間交流が本当に深まっていると感じる。一つの大きなターニングポイントだったと思う。また、オープンスカイによって日台間を結ぶLCC路線網が大きく増えたことも大きな後押しとなった。

## この3年間は200万人の目標を明言してきた。

3度目の正直で達成できた。日本旅行業協会(JATA)の調査によると、ゴールデンウィーク、年末年始ともに台湾は海外旅行先の人気No.1だが、これまでは座席が足りなかった。今年は訪日需要がやや落ち着いたことも、訪台旅行者200万人の達成にとっては後押しとなった。近年は台湾へのクルーズ旅行も増えるなど、旅行も多様化している。

## 目標だった200万人を突破し、新しい時代に入る。来年以降の取り組みについては。

毎年1つのテーマを定めてグローバルプロモーションを展開してきた。2018年は台湾旅行年、2019年はスローシティ旅行年に取り組み、現在も目的に応じてPRしているが、2020年は「脊梁山脈旅行年(山岳旅行年)」を掲げて、旅行商品のさらなる多様化を目指し、新たにチャレンジするテーマは山とした。台湾には3000m級の山が268座ある。とくに春と秋は最適なシーズンであり、冬でも楽しめる。登山はもちろん、ハイキングやウォーキングの魅力もPRしていく。

## 地方訪問を促進したい狙いもある。

日本人旅行者を訪れるのは、台北と新北市が中心。アク



台湾観光局の鄭憶萍東京事務所長



200万人突破セレモニーの様子(12月9日 台湾・桃園国際空港にて)

セスが便利で日本語もある程度通じるため、大都会に集中するのは仕方ない面もあるが、地方分散を図るため、人情味が溢れる地方に足を伸ばしてもらおうとスローシティ旅行を促進してきた。

また、JATAと一緒に取り組んできた「世界遺産級台湾30選」は来年で3年目を迎える。30選は、個人旅行では行きにくい、パッケージツアーならではの台湾各地の魅力を紹介している。来年は30選もコラボレーションさせながら、台湾の自然を満喫してもらえる取り組みをすすめる。

## グローバルプロモーションは、2021年に自転車、2022年に鉄道がテーマとなる。

台湾にはサイクリングロードが沢山あり、自転車を車に積んで地方でサイクリングを楽しんだり、MRTや台湾鉄道も規則に従って自転車を持ち込めたり預けたりできる。

また、台湾は鉄道で1周できる。速さを求めるなら台湾高速鉄道、ゆっくりした旅を希望するなら在来線やローカル線がある。今後は鉄道周遊パスをもっと進化させていくことも検討中だ。

やはり、旅行の中で体験をすることで、旅行の印象はより深くなるため、体験観光をもっと促進していきたい。

## 念願の200万人を達成し、次の目標は。

200万人は一つの大きな目標だった。また、日台観光サミットでは、2020年までに日台相互交流800万人を目標に掲げている。今年の日台相互交流人口は700万人近くまで伸びると見ている。今後は台湾と日本の協力関係をより強化し、さらなる相互交流の促進を図っていく。

## 旅行会社への期待とメッセージを。

200万人達成への協力を改めて心から感謝の気持ちを伝えたい。また、今後も台湾観光局としては、各方面への協力をお願いしたい。台湾には、自然や文化など奥深い魅力があり、旅行会社にはそうした台湾の魅力をもっと知ってもらえるような取り組みを期待したい。台北やその周辺だけでなく、地方の観光地に足を運んで新たな商品企画に活かしてもらえたら嬉しい。

奥深い台湾の魅力の商品化することが旅行会社にとってもチャンスになると信じている。台北、台中、台南、高雄

という点だけでなく、もう少し広がりを持った周辺エリアへの旅行を企画してほしい。そこにはより人情味の深い台湾らしい台湾がある。これからも一緒に協力し、台湾の観光を盛り立ててほしい。

**台湾**

2014~2019 6年連続 ゴールデンウィーク  
2015~2018 4年連続 年末年始  
2018 夏休み

**人気No.1**

日本旅行業協会動向調査調べ  
2019年3月発表資料より

Taiwan THE HEART OF ASIA 台湾観光局

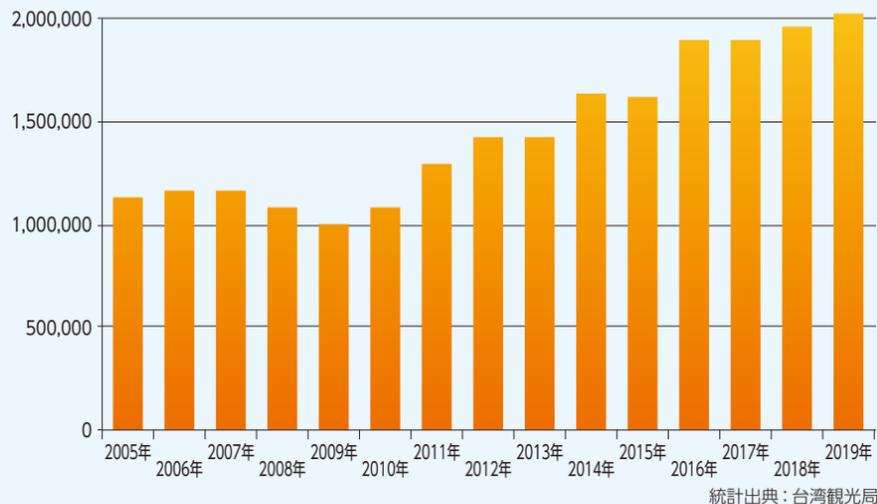
**台湾は日本人の海外旅行先人気No.1**

日本人の海外旅行先として、絶大な人気を誇る台湾。年末年始は2015年~2018年まで4年連続、ゴールデンウィークは2014年~2019年まで6年連続で、台湾が人気旅行先1位となっている(日本旅行業協会調べ)。2018年は夏休みの旅行先でも人気No.1を獲得している。

台湾はグルメや観光スポットなどの観光魅力が豊富。近年はより深い台湾の魅力に触れようと、台北から一歩先まで足を伸ばした地方観光も増えている。そうしたバラエティに富んだ台湾の魅力が、日本人訪台旅行者数200万人の初突破につながった。まだまだ奥深い台湾。その魅力に触れる旅に出かけよう。

## 日本人訪台旅行者200万人突破への道のり

日本人訪台旅行者数の推移



日本からの訪台旅行者数は、2005年に100万人を突破して以降、リーマンショックなどによる一時のマイナス影響を乗り越え、14年かけて200万人へと倍増した。とくに、2011年の東日本大震災の時には、被災地への物心両面での支援や義捐金、台湾への癒しの旅への1000名招待など、様々な支援が行われ、日本と台湾の絆が一層強まり、その後の双方向交流の大幅な拡大につながった。

## 海外修学旅行No.1、幅広い世代に人気

日台間の絆の深まりは、レジャー需要だけでなく、海外修学旅行などの青少年交流や、自治体交流などにも波及している。海外修学旅行の渡航先ランキングでは、2017年度の海外修学旅行先の1位は台湾で、325校、参加生徒数等は5万3940人に達した(全国修学旅行研究協会調べ)。若者世代が台湾を訪れてファンになり、リピーターになる

好循環が生まれている。

また、訪台日本人旅行者を世代別、性別にみても、非常にバランスがとれており、どの世代からも支持を得られていることが市場の安定と成長につながっている。

## 2020年までに日台双方向800万人へ

日台間の相互交流人口は、2018年に前年比4.1%増の約673万人に達した。訪日旅行者数は約476万人、訪台旅行者数は約197万人で、2019年は700万人近くに達する見通しだ。

日台観光サミットでは、2020年までに相互交流人口800万人の実現をめざした「富山宣言」を採択している。地方都市への誘客や、経済・スポーツ・文化・歴史等による交流促進、若年層の双方向交流の拡充などで協力していくことを確認している。新時代に入った日台観光のさらなる交流拡大とその深まりが期待される。

# 『イロイロ、遊び台湾』新キャンペーン開始

台湾観光局は、『イロイロ、遊び台湾・Meet Colors! Taiwan』をテーマに、台湾観光の新キャンペーンをスタートさせた。このほど開催された新CM発表会には、台湾在住で元卓球女子日本代表の福原愛さんがゲストとして登壇。福原愛さんには発表会当日限定の「台湾観光親善アンバサダー」として、周永暉台湾観光局長からの感謝状が授与された。また、台湾在住の福原さんならではの目線から、台湾のグルメや人情深い人々のあたたかさなどが紹介され、「ぜひ家族で遊びに来てほしい。海外旅行先で悩んでいる方がいたら、ぜひ台湾をおすすめしたい」と台湾旅行の魅力がアピールされた。

## 台湾観光局、福原愛さんゲストに新CM発表会 新CMは「定番編」「ロマン編」「ロハス編」

新CMは、『イロイロ、遊び台湾・Meet Colors! Taiwan』をテーマに、「定番編」、「ロマン編」、「楽活(ロハス)編」の3編が制作、発表された。『イロイロ、遊び台湾』には、「色々な彩(いろ)」と「様々な顔」の意味が込められたほか、「遊び台湾」は「遊びたい、たいわん」の言葉遊びで、楽しい台湾旅行のイメージを作り上げた。

新CMの「定番編」は、全てのターゲットに向けて日本人が知っている台湾の定番観光スポットに新たな視点を加えて紹介。「ロマン編」は、若い女性層に向けて、異国への憧れと夢が台湾で叶えられるように提案する。「楽活(ロハス)編」はアウトドア好きな方に向けて、台湾の自然や風景とアウトドア体験の魅力を紹介する。

### 蔡副大使、安全で フレンドリーな台湾楽しんで

挨拶に立った台北駐日経済文化代表処の蔡明耀副大使は、「台湾は日本から近い国々の中でも、最も文化的背景が近く、大変人情味のある国。また、台湾はこれまで日本マーケットへの開拓に特化し、質、量のいずれも重要視してきた。皆様の長年にわたる支援と協力により、台日観光交流が活発

化し、双方向の交流人数を一気に成長させることができた」と感謝の意を表した。

また、「台湾の安全な環境と、親日的なフレンドリーさは、日本人観光客が安心して旅行できるスポットとして、今後も多くのお客様にお越しいただきたい。台湾はきっと訪れる皆様に、自分の故郷に戻った時と同じような温かな感動と、たくさんの思い出を作ってもらえるような旅先になると信じている」と述べた。

### 鄭所長、2020年は 「新しい幕開けに」

台湾観光局の鄭憶萍東京事務所長は、台湾観光の新キャンペーンについて、「これまでMeet Colors! Taiwanとして、様々な色で台湾の魅力を表現してきたが、『イロイロ、遊び台湾』では、遊びたい+台湾。色だけでなく、台湾での沢山の楽しみ方を提案していく」と狙いを説明した。その上で、2020年は「脊梁山脈旅行年」とともに、新キャンペーンのスタートによって「新しい幕開けになる」と意気込んだ。

鄭所長は、「台湾は、日本と同じように美しい山や海に恵まれており、小籠包やマンゴーかき氷などのグルメから、温泉、山登



左から、台湾観光局の鄭憶萍東京事務所長、台北駐日経済文化代表処の蔡明耀副大使、福原愛さん、台湾PRキャラクターのオーベア

り、水遊びまで、なんでもある。ぜひ本場の台湾でその魅力を堪能してほしい」とアピール。また、「台湾だからこそ、自分ならではの思い思いの旅行をアレンジできる。家族旅行、1人旅、ママ旅、親孝行の親子旅、三世代旅行、女子旅、男子旅、どれも楽しい思い出と幸せを体験できる」として、「自分の故郷のように、心も距離も近い台湾に来て、自分の好きな旅行のスタイル、好きな遊び方を発見してください」と呼びかけた。

### 福原愛さんが1日限定 台湾観光アンバサダーに

当日限定で「台湾観光親善アンバサダー」をつとめた福原愛さんは、「台湾は食べ物も美味しいし、人も温かい。子どもやお年寄りにもすごく優しい。ぜひ家族で、おじい

ちゃまやおばあちゃま、小さなお子さんを連れて遊びに来てほしい。海外旅行で悩んでいる方がいたら、ぜひ台湾をおすすめしたい」と述べ、台湾来訪を呼びかけた。

福原さんは、「台湾に来てから、タロイモにすごくはまっている。もしカロリーがゼロなら毎日食べたいと思うぐらい、本当に美味しい」と、タロイモをはじめとするグルメの魅力を紹介。

また、台湾旅行のおすすめスポットとして夜市を挙げ、「夜市は場所によって色々な楽しみ方がある。食べ歩きはもちろん、射的やゲームなどもあり、すごく楽しい」と紹介した。また、福原さん自身は、台湾の人気観光スポットの九份にまだ行ったことがないとして、「時間ができたら九份に行ってみよう」と話した。

## 2020年は「脊梁山脈(山岳)旅行年」 台湾で登山、トレイル、ハイキングを楽しもう

台湾は、四方を海に囲まれた九州ほどの面積の島国でありながら、東アジア最高峰の3952mを誇る「玉山」を筆頭に、3000m級の山脈を268座も有する山岳



脊梁山脈旅遊年  
Year of Mountain Tourism

大国。そうした台湾の山の魅力をもっと多くの観光客に知ってもらおうと、台湾観光局は2020年を「脊梁山脈(山岳)旅行年」として、新たなプロモーションをスタートさせる。

これは、毎年1つのテーマを取り上げ、自然や文化など多様性に富んだ台湾の魅力にフォーカスをあてたグローバルプロモーションの一環。2018年は「海湾旅行年」、2019年は「スローシティ旅行年」、2020年

は「脊梁山脈旅行年」をテーマにプロモーションを展開する。

台湾では玉山をはじめとするアジア最高峰級の山々での本格登山はもちろん、阿里山や花蓮でのトレッキングやハイキングなど、多様な山の楽しみ方がある。また、合歡山、梨山、阿里山、玉山などは東アジアの中でも南十字星の好観測地でもある。

台湾観光局は2020年の「脊梁山脈旅行年」で、55本のトレッキングルートと7本のハイキングやトレイルコースを選出。様々なイベントや民俗文化と融合させながら、山岳観光の魅力を紹介していく。都心からのアクセスもよくハイキングに最適な台北市の「陽明山国家公園」、新北市の「野柳ジオパーク」、宜蘭県の「草嶺古道」でのウォーキングなど、気軽に立ち寄れるスポットもあわせてPRしていく。



### 台湾の山は「日本とは異なる山深さが魅力」 アルパイン ツアー サービス、林知篤営業企画部主任に聞く

台湾の山について「日本の山とは違った山深さがあるのが魅力」と表現するのは山岳ツアーを専門に取り扱うアルパイン ツアー サービス営業企画部の林知篤主任だ。台湾は九州と同程度の面積でありながら標高3000メートルを超える山々が数多く存在するのが大きな特徴であると言える。一方で遊歩道が整備されたハイキングコースも数多く存在し、さまざまな山の楽しみ方が可能だ。

台湾の山は3952mの玉山を中心に本格的な山々が名を連ねる。高い山と深い谷。そして緑が多いその姿は「日本の南アルプスに近い雰囲気がある」と林主任はこのように話しており、日本の登山愛好家にとっても親しみやすい環境が整っているといえそうだ。

林主任は12月初旬に台湾観光局が企画した視察旅行に参加した。視察先には観光地として知られる太魯閣や日月潭などを訪れたほか、3000メートルを超える合歡山や台湾最高峰の玉山を望むことができる鹿林山なども訪問した。林主任は「これまで高い山々を訪れたことはあっ

たが、1~2時間で楽しむことができるハイキングコースを始めとして、バラエティに富んだ素材を楽しむことができる点を再認識した」と振り返った。

また、台湾の地理的環境も日本とは異なる登山を楽しむことができる要素の1つであると林主任は指摘する。

台湾は日本よりも南にあることから高峰の登山は日本に比べ早い時期から可能であるという。そうしたことから「日本のシーズンに先駆けて登山を楽しみたいという需要に対して、台湾のツアーを提案するというのもおもしろいのではないかと考えている」と話す。

台湾登山を楽しむ上での留意点としては、地理的には日本より南ではあるものの、山岳部は気温が下がるため「春先の登山を楽しむ上では一定の寒さ対策も必要となる」とした。また夏の登山については「日本に比べて台風が数多く接近するので、この部分も気をつけてもらいたい」と林主任は付け加えた。



玉山

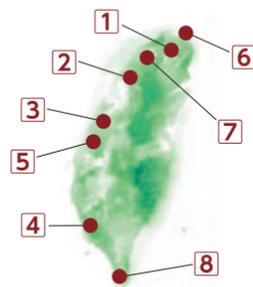


宜蘭草嶺古道

Howard Hotel Group (福華大飯店)

台湾特集

台湾最大規模を誇るファイブスターのホテルチェーンブランド Howard Hotel Group



1984年に、グループ第1号となるHoward Plaza Hotel Taipeiをオープン。以来「Howard Hotel Group」は、台北、新竹、台中、高雄、雲林のビジネス向け高級ホテルに加えて、翡翠湾や石門ダム、墾丁に3つのリゾートホテルを運営する。「誠実な心、心を込めたサービス」を経営理念に、台湾最大規模を誇るファイブスターのホテルチェーンブランドとして、最高のクオリティとサービスで満足度の高い宿泊を提供している。

1 Howard Plaza Hotel Taipei

台北の老舗5つ星ホテル ビジネス・団体向けには最新の宴会場を完備

台北市の東区に位置するHoward Plaza Hotel Taipei。MRT忠孝復興駅と大安駅からわずか徒歩5分、台北世界貿易センター、台北国際会議センターまで車で約10分、桃園国際空港まで車で約45分と交通の便利なロケーションにある。客室数は606室。ビジネスや観光での利用はもちろん、団体旅行や大型会議などMICEマーケットや修学旅行の利用にも最適だ。ワンランク上の滞在には、ローズウッドクラブフロア及びジュニアスイート、スイートルームの宿泊がおすすめ。専任のスタッフが対応するクラブラウンジが利用できる。

レストランでは、数々のコンテストで賞を獲得したシェフたちによる様々な料理を提供。地元の食通たちが愛する台湾料理の「蓬萊邨」や上海江浙料理の「江南春」、洗練されたアメリカン料理の「Park Avenue」など充実した食が楽しめる。

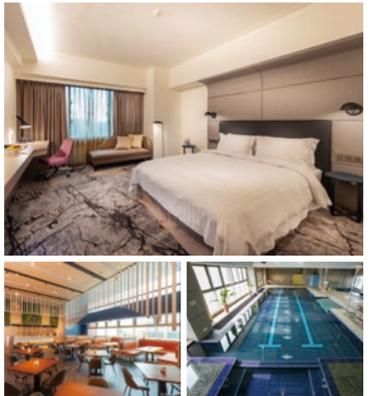
また、年末年始に年越しそばを振る舞うなど、日本人向けのサービスも充実している。



2 Howard Plaza Hotel Hsinchu

大新竹エリア唯一の4つ星ホテル ベストなロケーションで、ビジネス、レジャーに最適

新竹市の中心部の繁華街に位置する、大新竹エリア唯一の4つ星ホテル「Howard Plaza Hotel Hsinchu」。市街地周辺までは徒歩圏内で、現地のグルメが楽しめる至便のロケーションだ。全165室の客室では、洗練された美しいインテリアに快適さを追求したハイグレードな宿泊空間を提供。客室は広々としたオフィスデスクと有線/無線の無料高速インターネットを備え、ビジネス利用にも便利だ。室内プール、SPAジャグジー、サウナ、各種フィットネス設備を完備しており、滞在中に心と体をリラックスさせることができる。



6 Howard Beach Resort Green Bay

全室オーシャンビュー 北海岸から基隆島を一望

台北市内から車で約40分。台湾北部の中心部に位置し、美しいグリーンベイビーチ(翡翠灣)と基隆島を望む240室全室オーシャンビューのリゾートホテル。

ビーチに隣接した大きなスイミングプールをはじめ、フィットネスセンター、ビジネスセンター、コンビニエンスストア、キッズスペース、卓球、ビリヤード、自転車レンタルなどの施設も充実している。「江南春」「麗香苑」のレストランがあり、新鮮な食材を利用した、セットミール、フルビュッフェ、中華料理、ケータリングを提供している。



3 Howard Prince Hotel Taichung

台中のアクセス至便なラグジュアリーホテル 満足度の高いきめ細やかなサービス

カジュアルシングルから、エグゼクティブスイートまで用途に合わせた全155室の様々なタイプの客室を用意している「Howard Prince Hotel Taichung」。最高級のマホガニーの家具を配した気品あるデザインスタイルで、快適な空間を提供している。台中の工業団地からアクセスが良く、ホテル内にはPCや各種会議室を用意しており、ビジネス利用に最適だ。また、フィットネスセンター、サウナ、屋外スイミングプールも完備している。



7 Howard Lake Resort Shimen Dam

石門の大自然を満喫するレイクリゾートホテル 美しい景色を眺めながらのんびり滞在

石門ダムの景色をゆったりと堪能できる全90室のプライベートリゾート。周辺には、緑豊かな景色が広がり、ビジネスや観光で長い一日を過ごした後、プールでリラックスしたひと時を過ごすのがおすすめだ。テニスコート、卓球、ビリヤード、トレーニングジム、キッズプレイルームなどの施設も完備している。

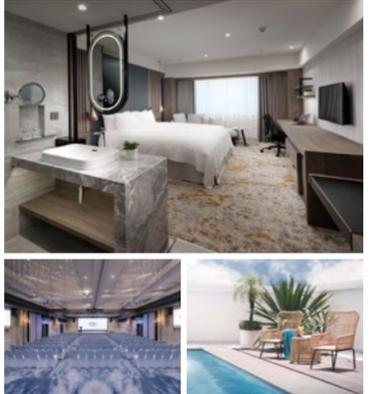
リゾート内のミーティングルームは、25~250名収容可能で、小規模のミーティングや大型会議など、各種ニーズに対応することができる



4 Howard Plaza Hotel Kaohsiung

高雄でトップクラスの高層ホテル ショッピング・観光・ビジネスの拠点に

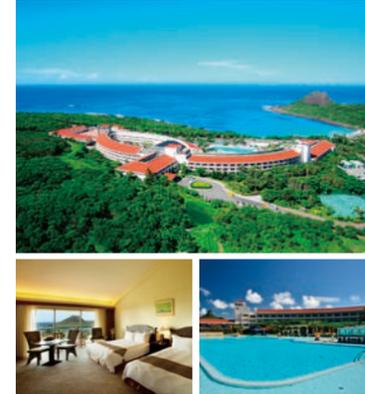
高雄市内の商業地区の中心に位置する「Howard Plaza Hotel Kaohsiung」は全271室。高雄国際空港から車で約20分、地下鉄見麗島駅から徒歩8分とアクセスがよく、六合観光夜市や愛河や西子湾など高雄の観光名所を巡りやすい。高雄でトップクラスの高層ホテルで、ホテルから眺める景色は圧巻。周囲には多彩な商業施設があり、ショッピング・観光・ビジネスのなど、あらゆるシーンにマッチするホテルだ。本格的な上海料理、広東料理、西洋式ビュッフェ、スカイバーなど、多彩で美味しい料理を提供するレストランを完備する。



8 Howard Beach Resort Kenting

墾丁の山と海の素晴らしい景色を独り占め トロピカルなラグジュアリービーチリゾート

台湾で最も人気のあるビーチリゾートのひとつ墾丁国立公園内にある「Howard Beach Resort Kenting」。緑豊かな三万坪の広大な敷地の中にあり、窓の外には美しいオーシャンビューが広がる。405室の客室には、ツインタイプの豪華な客室のほかに、ユニークなビラタイプも完備。各種プールや親子プレイルーム、ビリヤード、卓球台なども備え、ファミリーにも最適だ。また950人まで対応できる宴会場や1000人収容可能な屋外広場など、多様な需要にも応えることができる。



5 華安ホテル

雲林県斗六市にあるHowardグループの「華安ホテル」は、台湾鉄道の斗六駅からすぐの場所にあり、ビジネスの拠点として、また台湾中部の旅行の拠点に最適なロケーション。

全66室の客室内にはLCDテレビ、WiFi、冷蔵庫、電話、電気ポットなどを完備するほか、ホテル内には、ジム、コインランドリーを備えており、快適に過ごすことができる。



Howard Plaza Hotel Taipeiでは、JR東日本のビューカード会員向けに各種特典を用意している。会員向けの特別宿泊料金をはじめ、送迎やラウンジ利用などの各種サービス、ホテル内レストラン・バーの飲食料金の割引など。今後はビューカード会員向けサービスのさらなる拡充を検討している。(ウェブサイト <https://www.jreast.co.jp/card/servicelist/>)

日本からのホテルの予約、お問い合わせは

Howard Plaza Hotel 東京事務所 張榮斌 (Robin) まで 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-17-2 ライオンズマンション日本橋508号室 TEL/FAX: 03-3527-2078 E-mail: [tokyo@howard-hotels.com](mailto:tokyo@howard-hotels.com) 営業時間: 平日9時~17時 ※土曜・日曜・祝日・年末年始休み



1984年に誕生したHoward Plaza Hotel Taipeiは  
多くのお客様にご愛顧いただき、おかげさまで開業34周年を迎えました。  
現在は台湾の主要都市・リゾートに計8箇所の拠点を構え、  
台湾らしい情緒を大切にしながら、心地良い空間とサービスを提供いたします。

Stay in Taiwan, stay with us !

ビジネスやレジャーに最適

台湾国内の人気ホテル!



## Howard Plaza Hotel Taipei

- ◆ 交通部観光局の評価において5つ星を取得
- ◆ ローズウッド室内家具を配した台湾の趣きを感じるインテリア
- ◆ オールデイダイニングルーム、洋食・台湾・広東・上海江浙料理、24hルームサービス、本格的バーなど充実した料飲施設
- ◆ MRT3線、忠孝復興駅 そごう百貨店と大安駅に徒歩5分
- ◆ 台北101、永康街、士林夜市等主要観光スポットへアクセス至便

## 台北 Taipei

ビジネスにも観光にも  
絶好のロケーション  
No. of Rooms 部屋数 : 606  
106 台北市大安区仁爱路三段160号  
Tel:+886 2 2700 2323  
E-mail: reservation-tp@howard-hotels.com.tw



## 新竹 Hsinchu

新竹のベストロケーション  
ビジネス、レジャーに  
快適なホテルステイ  
No. of Rooms 部屋数 : 165  
300 新竹市北区中正路178号  
Tel:+886 3 528 2323  
E-mail: rv-hc@howard-hotels.com.tw



## 台中 Taichung

台中のアクセス至便な  
ラグジュアリーホテル  
満足頂ける細やかなサービス  
No. of Rooms 部屋数 : 155  
407 台中市西屯区安和路129号  
Tel:+886 4 2463 2323  
E-mail: rvtc-tc@howard-hotels.com.tw



## 高雄 Kaohsiung

高雄商業地区の好立地  
快適なご宿泊と美食を  
真心でおもてなし  
No. of Rooms 部屋数 : 271  
800 高雄市新興区七賢一路311号  
Tel:+886 7 236 2323  
E-mail: rsvn-ks@howard-hotels.com.tw



## 雲林 Yunlin

客室内にはLCD テレビ、  
WiFi、冷蔵庫、電気ポットなど、  
様々な設備を揃えております。  
No. of Rooms 部屋数 : 66  
640 雲林縣斗六市民生路156号9F  
Tel:+886 5 536 1001  
E-mail: rv-mt@howard-hotels.com.tw



## 翡翠灣 Green Bay

北海岸から基隆島が一望  
240室全室オーシャン  
ビューが望める  
No. of Rooms 部屋数 : 240  
207 新北市萬里区翡翠路17号  
Tel:+886 2 2492 6565  
E-mail: rv\_2-gb@howard-hotels.com.tw



## 石門 Shihmen Dam

石門の大自然を満喫  
あなただけの  
プライベートリゾート  
No. of Rooms 部屋数 : 90  
325 桃園市龍潭区民富街176号  
Tel:+886 3 411 2323  
E-mail: howard-wt@howard-hotels.com.tw



## 墾丁 Kenting

窓に広がるオーシャンビュー  
トロピカルなラグジュアリー  
ビーチリゾート  
No. of Rooms 部屋数 : 405  
946 屏東県恆春鎮墾丁路2号  
Tel:+886 8 886 2323  
E-mail: howard-kt@howard-hotels.com.tw



ご予約・お問い合わせ  
Howard Plaza Hotel 東京事務所  
Tel / Fax : 03 3527 2078  
E-mail : tokyo@howard-hotels.com

